

## 取扱説明書

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書)をよく読み、製品を安全にお使いください。

※この取扱説明書については、予告なしに変更することがあります。  
※製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

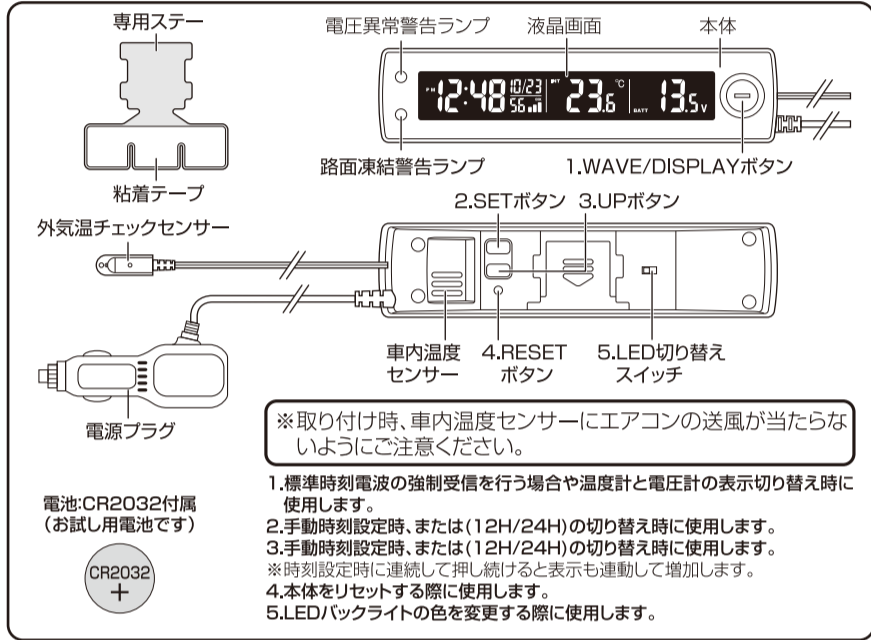
## はじめに

### 安全にご使用いただくために

- 本製品をご使用いただく際は、走行前に予め本体がしっかりとお車に取り付けてられているかをご確認の上、お使い願います。
- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任、保証は負いかねます。

## セット内容

## 各部名称/設定ボタン説明



※取り付け時、車内温度センサーにエアコンの送風が当たらないようにご注意ください。

- 1.標準時刻電波の強制受信を行う場合や温度計と電圧計の表示切り替え時に使用します。
- 2.手動時刻設定時、または(12H/24H)の切り替え時に使用します。
- 3.手動時刻設定時、または(12H/24H)の切り替え時に使用します。  
※時刻設定時に連続して押し続けると表示も連動して増加します。
- 4.本体をリセットする際に使用します。
- 5.LEDバックライトの色を変更する際に使用します。

## お取り付け・ご使用前に必ずお読みください

### 警告

●使用される前に、電源プラグがお車のアクセサリソケットに奥まで確実に差し込まれているかご確認ください。また走行中にも振動により本製品が外れることがあります。接触不良の状態で使用した場合、本製品やお車のヒューズ、アクセサリソケット破損の原因となります。※一部の車種では、アクセサリソケットが浅く接触不良を起こす場合があります。●走行中の振動により、電源プラグの先端キャップが緩む場合があります。定期的な先端キャップを増し締めしてください。●本製品の取り付け、ご使用が困難な場合、または、運転の妨げになる場合は無理に取り付けたりしないでください。事故や故障、破損の原因になります。●エアバック作動時に影響がないように取り付けしてください。●走行中の運転者による本製品の操作は交通事故の原因になりますので、おやめください。●煙が出る、こげくさい臭いがあるなど、異常の兆候が見られる時はただちにご使用を中止し、本製品を取り外してください。●濡れた手でのご使用や水気及びホコリが付着したままのご使用はおやめください。●本製品内部のヒューズが破損した時は車のヒューズボックスにある全てのヒューズに破損がないかを確認してください。また、車の機能(ヘッドライト、空冷ファンなど)に支障がないことを確認してください。●本製品の分解、改造(電源プラグを切断しての直接配線)などは絶対にしないでください。本製品の故障、破損、感電、ショートの原因になります。これらが起因する接続機器のトラブルに関して、当社は一切の責任を負いかねます。

### 注意

●静電気によるLED破損の原因になりますので、本体や電源プラグの金属部(プラス端子・マイナス端子)にはできるだけ手を触れないようにしてください。●本製品は12V車専用です。●本製品をご使用する時には、車のバッテリー保護のために必ずエンジンをかけた状態で使用してください。●電源プラグを抜く際はプラグ部分を持って、アクセサリソケットに対して必ず水平にゆっくり抜いてください。コードや時計本体を持って引っ張ったり、回転させたり、斜めに無理に抜くと故障、破損の原因になります。プラグを抜く場合はコードを引っ張って抜かないようにしてください。●屋内・地下駐車場やビルの谷間、電波塔など強い電波の発生源の近く等では、電波が受信できない場合があります。●走行中は電波の受信が困難で、初期設定時では正確な時刻情報を得る事ができない場合があります。その際には、車を停車した状態で受信するようにしてください。●布生地、革(合成・皮革含む)、曲面などのきつい場所には取り付けしないでください。●落としたり、叩いたり、強い衝撃を加えないでください。本製品及び車両への傷、破損の原因になります。●極端な高温または、低温の状況下では、液晶画面が白くなり表示が見えなくなる場合がございます。故障ではありません。常温になりますと液晶表示は元に戻ります。●電波時計本体や電源プラグは車内専用です。車外や雨・水のかかる可能性のある所には取り付けしないでください。●電池寿命は約300日ですが、付属の電池は出荷時からセットされているお試し用で、300日経たないうちに電池寿命となる場合があります。また、電池が切れると、時刻のバックアップができなくなります。(エンジンOFF時)●使用電池はCR2032タイプです。交換した古い電池は、新しい電池を購入したお店に処分をご依頼していただくか、お住まいの地域ルールに基づいて処分してください。●車種や取り付け場所によっては、本製品を取り外した際、取り付け部分が多少変色したり、日焼けによる取り付け跡が残る場合がございます。予めご了承ください。●LED光源を直視しないでください。目の健康をそこの場合があります。●紫外線の影響により本体色が退色する場合があります。●上記の警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用・分解・改造(ご購入後の塗装やデコレーションなどを含む)をされた際の事故、故障、破損等につきましては、当社では一切その責任は負いかねます。

## 開封と内容物の確認

■開封後、表面の「セット内容」を参考に内容物の確認をお願いします。

## 取り付けに関するご注意

- 必ず車を安全な場所に停車してから、本製品の取り付けを行ってください。
- 本製品の取り付け、ご使用が困難な場合、または運転の妨げになる場合は無理に取り付けしないでください。事故や故障、破損の原因になります。
- 運転操作の妨げやエアバック作動時に影響がないように取り付けしてください。本製品の取り付け、ご使用が困難な場合は無理に取り付けしないでください。

製品に関するお問い合わせは

☎0570(039)710

受付時間/AM10:00~PM5:30 月~金曜日(祝日休業)  
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1

株式会社 **セイウ**

https://www.seiwa-c.co.jp  
〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地

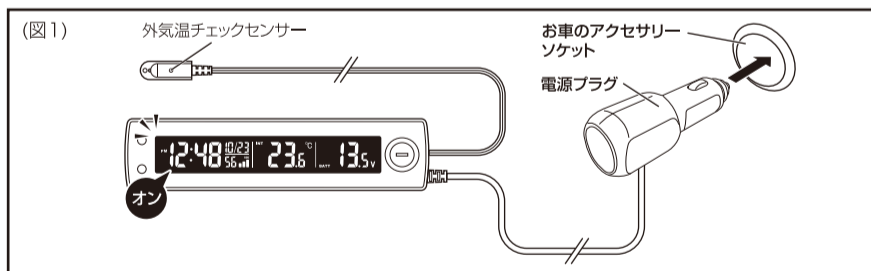
## 取り付ける前に

- 「5.電池交換方法」を参考にして、電池フタを外し付属のモニター用電池のプラス面を上にはめ込んでください。※その際、電池をなくさないように注意してください。
- 電池フタを本体に取り付けてください。
- ※付属の電池は「お試し用」ですので、寿命が短い場合があります。

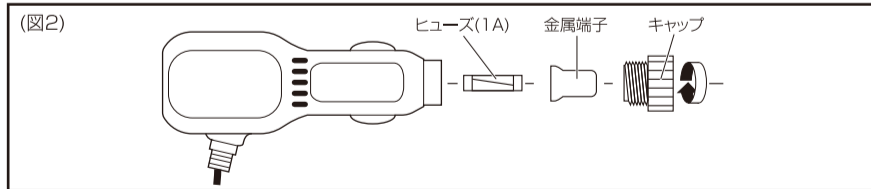
## 取り付け方法

### <電源プラグの接続>

- エンジンOFFの状態、お車のアクセサリソケット内のゴミ、ホコリ等をよく取り除いてください。汚れたまま電源プラグを差し込むと接触不良の原因になります。
- 本製品の電源プラグを差し込む前に、あらかじめお車のエンジンをかけてください。(差し込んだ状態でエンジンをかけると、本製品が故障する場合があります。)
- お車のアクセサリソケットに電源プラグをゆっくり差し込んでください。振動等で抜け落ちることの無いよう奥までしっかり差し込んでください。(図1)
- ※一部の車種にはソケットの差し込み距離が浅い場合がありますので接触不良にご注意ください。
- 脱着する際には、必ず電源プラグの根元をしっかり持ってアクセサリソケットに対し必ず水平にゆっくり抜いてください。回転させたり、斜めに無理に抜くと破損の原因になります。
- ※走行中に先端キャップがゆるむことがありますので、ご使用前に増し締めを行ってください。
- ※お車のエンジンを切ったら必ず、電源プラグをアクセサリソケットから引き抜いてください。

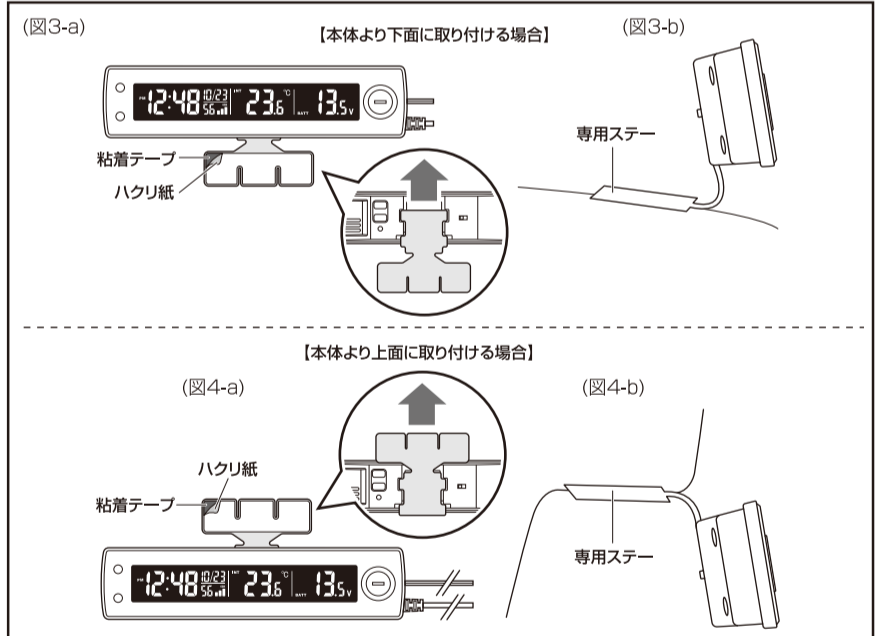


- 本体の液晶画面が点灯しない場合は、電源プラグ内のヒューズが切れている場合がございます。ヒューズの交換を行ってください。(図2)



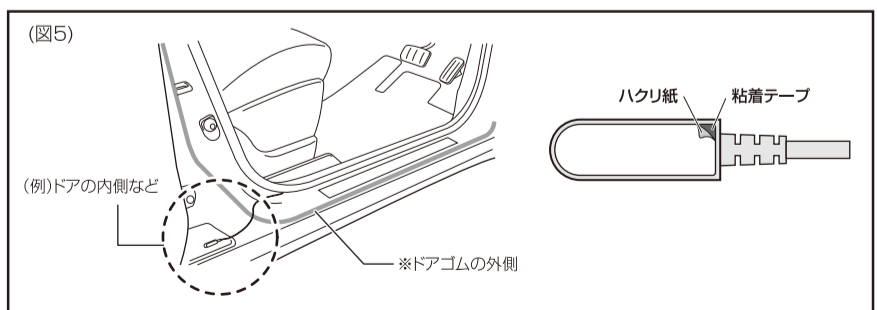
### <専用ステーの取り付け>

- 液晶表示が見やすい位置を決め、取り付け場所に依り専用ステーを本体裏面の差し込み部に差し込んでください。(図3-a)(図4-a)
- 取り付け位置から液晶表示が見やすい角度に専用ステーを曲げて調整してください。(図3-b)(図4-b)
- あらかじめ取り付け場所の光沢材、汚れ、ゴミ、ホコリ等を中性洗剤等を用いてよく拭き取ってください。
- 10℃以下の低温時には十分な接着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。また、真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も接着力が得られない場合があります。
- ※粘着テープの貼り直しは粘着力が低下しますのでお避けください。
- 専用ステーに付いている粘着テープのハクリ紙をはがしてしっかりと貼り付けてください。
- ※粘着テープ貼り付け後は十分な粘着力を得るために24時間放置してください。
- ※専用ステーを何度も折り曲げると折れる場合があります。



### <外気温チェックセンサーの取り付け>

- 外気温チェックセンサーの取り付け場所は、エンジンの熱、直射日光、雨、風などによる温度の影響がなく、外気にふれる場所を選んでください。
- あらかじめ取り付け場所の光沢材、汚れ、ゴミ、ホコリ等を中性洗剤等を用いてよく拭き取ってください。
- 外気温チェックセンサーに付いている粘着テープのハクリ紙を剥がしてしっかりと貼り付けてください。(図5)
- ※不自然な温度を表示する場合は、取り付け位置を変更してください。
- ※粘着テープの貼り直しは粘着力が低下しますのでご注意ください。
- ※外気温チェックセンサーのコードは、余っても絶対に切断しないでください。



## 温度表示・電圧異常/路面凍結ランプを確認する

製品仕様		電圧表示の目安					
温度計機能		電源		電圧	バッテリー状態 (キーがACCの時)	充電状態 (エンジン回転時)	警告 ランプ
温度表示範囲	車内温度/-20℃~+50℃ 車外温度/-50℃~+70℃	DC12V		11.5V以下	完全放電~弱	充電不可	点灯
温度精度	車内温度/±1.5℃ 車外温度/±2℃	電圧表示範囲 6.0V~16.0V		11.6~11.9V	弱	充電不可	
測定表示	0.1℃単位	電圧測定精度 ±0.2V		12~12.5V	普通	充電不可	
測定温度周期	8秒	測定表示 0.1V単位		12.6~13.5V	良好	弱充電	
凍結警告温度	+4.9℃以下※車外温度のみ	測定周期 5秒		13.6~15.4V	過充電	通常充電	
測定外表示	Hi or Lo	異常警告電圧 11.5V以下		15.5V以上	過充電	過充電	点灯
警告ランプ	青色ランプ 点灯	測定外表示 Hi or Lo					
		警告ランプ 青色ランプ 点灯					

※温度表示は、同じ環境下で測定した場合でも、車内温度と車外温度表示に若干の差が出る場合があります。  
 ※標準電圧受信中は「車内/車外温度、電圧」表示は変化しません。  
 ※電源プラグからの通電がオフの場合、電圧表示、LEDバックライトと警告ランプは点灯しません。  
 ※車外温度、電圧を選択・表示していない場合でも警告ランプは点灯します。

### 【11.5V未満及び15.5V以上の場合】



### 【車外温度が+4.9℃以下になった場合】



### 【表示範囲外になった場合】



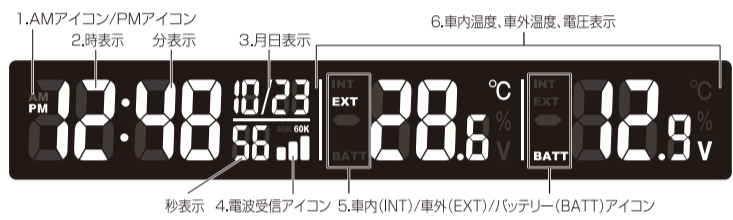
表示範囲より高くなった場合



表示範囲より低くなった場合

※上記はバッテリー電圧の目安としての表記です。  
 ※本製品はアクセサリソケットからの計測となりますので、配線類の電気抵抗をうけるためにバッテリー端子間での測定よりも若干低い数値になる場合があります。  
 ※お車のキーをOFFにする時に電圧警告ランプが一瞬点灯する場合がありますが異常ではありません。

## 液晶画面



1. 12Hに設定している場合、午前中はAM、午後になるとPMのアイコンがそれぞれ表示されます。24H設定している場合は表示されません。
2. 標準電圧を受信すると自動設定されます。手動設定も可能です。12H表示と24H表示が選択できます。
3. 標準電圧を受信すると自動設定されます。手動設定も可能です。
4. 標準電圧受信状態になると電圧レベルアイコンが左から右へ順に点灯します。正確な時間に補正された場合、電圧アイコンが翌日のAM2時まで表示し続けます。
5. 車内温度を選択するとINT、車外温度を選択するとEXT、電圧を選択するとBATTが表示されます。  
 ※電圧表示の場合、エンジン回転時はバッテリーへの充電電圧を表示します。
6. 車内温度、車外温度、電圧のうち2つを選んで同時に表示できます。

## 1. 時計のセッティング

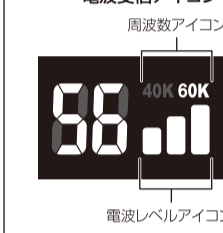
- お買い求めいただいた直後の状態は、時刻が合っていないのでセッティングを以下の手順で行ってください。
- 初期設定は「2013年1月1日、AM12:00」から時計が起動します。自動的に電圧受信を開始します。電圧受信は約8分試みます。詳しくは「2. 標準電圧の自動受信」を参照してください。
- ※昼間は電圧の受信が難しい環境です。受信に失敗した場合は、「4. 手動時刻設定」を参照して時刻を合わせてください。



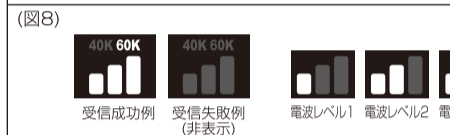
## 2. 標準電圧の自動受信

- 本製品は一日に4回(AM2:00、AM3:00、AM4:00、PM4:00)自動受信を行い、時刻の補正を行います。その日の自動受信で一回受信に成功すれば翌日(AM2:00)まで自動受信は行いません。
- まず60Kでの電圧受信を行い、約4分間で受信しなかった場合、受信周波数が40Kに自動的に切り替わり、約4分間受信を試みて終了します。(図6)
- 60Kの受信中にWAVE/DISPLAYボタンを押すと、40Kの受信に切り替わります。(図7)
- 40Kの受信中にWAVE/DISPLAYボタンを押すと、電圧受信を終了します。その際、アイコン表示は受信失敗時のものになります。(図7)(図8)
- 受信が終了するまでSETボタン、UPボタン、RESETボタン以外は作動しません。電圧受信中は電圧受信周波数が表示され、受信状態を示す電圧レベルアイコンが点滅します。(図8)
- 電圧受信中は、電圧レベル(受信しやすさ)によって電圧レベルアイコンの表示数が変わります。電圧レベルが1~2のときは、受信しにくい環境ですので、受信環境を変えてみてください。(図8)
- 電圧受信が成功すると、電圧受信アイコンと受信した周波数が液晶画面に表示され、標準時刻に補正されます。
- 電圧受信に失敗した場合、周波数アイコンと電圧レベルアイコンは表示されません。(図8)
- ※電池を入れた直後の自動受信に失敗した場合は、必ず「手動時刻設定」を参照して時刻を合わせてください。
- ※標準電圧受信中は「車内/車外温度、電圧」表示は変化しません。
- ※標準電圧受信中は本体を動かさないでください。
- ※2回目以降の自動受信は、受信していた周波数から受信を試みます。

### (図6) 電圧受信アイコン



### (図7) WAVE/DISPLAYボタン



## 3. 標準電圧の強制受信

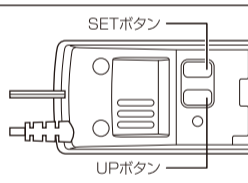
- 電圧受信アイコンが表示されていない時などに、ボタン操作でいつでも標準電圧を受信することができます。(電圧送信所の落雷や定期保守実施時には電圧送信が停止されます。その際は電圧受信できません。詳しくは「日本標準時グループ」のホームページ <https://jij.nict.go.jp/> でご確認ください。)
- WAVE/DISPLAYボタンを約2秒間押し続けると、強制的に電圧の受信を行います。電圧受信中の表示・操作に関しては、「2. 標準電圧の自動受信」を参照してください。
- 受信に成功すれば、翌日(AM2:00)まで自動受信は行いません。
- ※受信に失敗した場合、同じ環境で再度強制受信をしても受信を成功させることは困難です。「4. 手動時刻設定」を参照して時刻を合わせるか、場所や時間を変えて再度強制受信を行ってください。

## 4. 手動時刻設定

- 電圧受信中は手動時刻設定ができません。WAVEボタン/DISPLAYボタンを押して受信を中止してください。
- 電圧の受信ができない場合や、購入後などすぐに時刻を合わせたい場合などは、手動で時刻を設定することができます。
- 数字はUPボタンで1ずつ進んでいきます。数字は1周ループしないと戻れませんのでご注意ください。(西暦は最大2099まで進んで、2000に戻ります。)
- 「年(西暦)」→「月」→「日」→「時」→「分」に順に設定していきます。「分」まで確定すると通常状態に戻り、時計がスタートします。

### 1 手動時刻設定のスタート

- 時計の手動時刻設定には、本体背面のSETボタンとUPボタンを使用します。
- 本体背面のSETボタンを約2秒間押ししてください。
- ※手動時刻設定中は、UPボタンを1回押すと数字が1つ繰り上がり、長押しすると連続で数字が繰り上がります。
- ※手動時刻設定中に何も操作せずに30秒経過すると、自動的に通常状態に戻ります。設定した項目は記憶されます。



### 2 年(西暦)の設定

- 「年(西暦)」の4桁が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「年(西暦)」に合わせてください。
- ※2099まで増加した後は、2000に戻ります。
- SETボタンを押すと確定します。



### 3 月の設定

- 「月」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「月」に合わせてください。
- SETボタンを押すと確定します。



### 4 日の設定

- 「日」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「日」に合わせてください。
- SETボタンを押すと確定します。



### 5 時の設定

- 「時」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「時」に合わせてください。(AMが午前、PMが午後です。)
- SETボタンを押すと確定します。



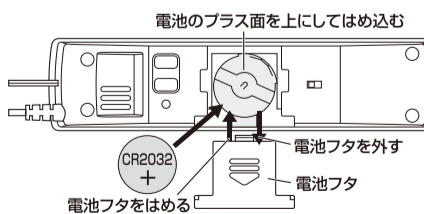
### 6 分の設定

- 「分」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「分」に合わせてください。(AMが午前、PMが午後です。)
- ※UPボタンを1回でも押すと、「秒」が00にリセットされます。
- SETボタンを押すと確定します。



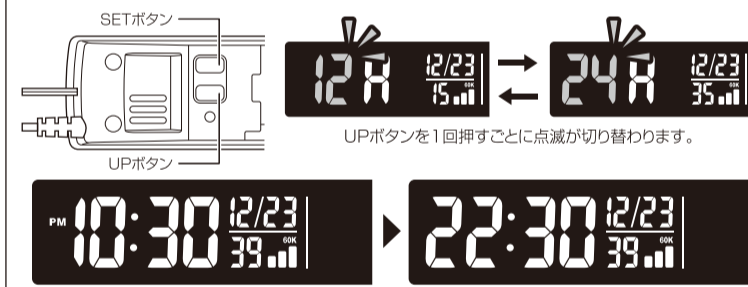
## 5. 電池交換方法

- 電池交換の際は、時計本体背面の電池フタを押し下げて古い電池を外し、新しい電池(CR2032)をプラスを上側にして取り付け電池フタを戻してください。
- 交換した古い電池は、新しい電池を購入したお店に処分をご依頼していただくか、お住まいの地域ルールに基づいて処分してください。
- 電池交換後は、取扱説明書の「1. 時計のセッティング」を見て時計をセットしてください。



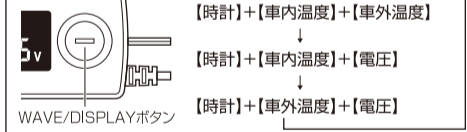
## 6. 12H/24H表示切り替え方法

- 通常の現在時刻表示の状態ではSETボタンを押すと、12H/24Hの選択表示に切り替わります。
- UPボタンを押して12Hまたは24Hを選択し、SETボタンを押すと表示が切り替わります。
- ※電圧受信中は表示の切り替えができません。WAVE/DISPLAYボタンを押して受信を中止してください。



## 7. 温度・電圧表示切り替え方法

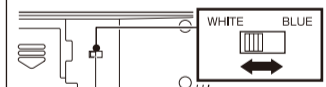
- WAVE/DISPLAYボタンを1回押すごとに表示内容を切り替えることができます。



- ※電圧受信中は表示の切り替えができません。WAVE/DISPLAYボタンを押して受信を中止してください。

## 8. LEDバックライト切り替え方法

- 本体裏面のLED切り替えスイッチをスライドさせると、白色LEDまたは青色LEDバックライトに切り替えることができます。



- ※電源プラグからの通電がオフの場合、バックライトは点灯しません。

## トラブルシューティング(このような場合の対処法)

トラブル内容	対処法	補足
電圧を受信しない	24時間そのままにしておく 受信環境を変えて受信をやり直す	自動受信する時間帯が最も電圧を受信しやすい環境です。手動で時刻設定した後、24時間そのままにして自動受信させてください。 受信場所などを変えて、強制受信させてください。もしくは手動で時刻設定した後、受信場所などを変えて24時間そのままにして自動受信させてください。
新しい電池を入れても画面が表示されない	リセットする 電池を入れなおす	本体背面のRESETボタンを、先端の細いもので押し、初期化してください。 一度電池を取り外して、電池の向きを確認して再度電池を入れてください。
電圧受信が成功しているにもかかわらず時刻表示が時報と合わない	リセットする	静電気などにより、内蔵しているマイコンが誤作動し、時刻違いなどが発生する場合があります。本体背面のRESETボタンを、先端の細いもので押し、初期化してください。
エンジンを切ると時刻がリセットされる	新しい電池に取り替える	電池残量が少なくなると、現在時刻を記録できなくなります。お早めに新しい電池に取り替えてください。
バッテリー電圧が表示されない	エンジンをかける 標準電圧の自動受信を手動で停止する	DC電源プラグが通電時のみ、バッテリー電圧が測定・表示されます。 標準電圧受信中はバッテリー電圧の表示はされません。※車内/車外温度の測定・更新もされません。WAVE/DISPLAYボタンを押して自動受信を止めてください。
温度表示・バッテリー電圧表示が異常と思われるとき	リセットする	静電気などにより、内蔵しているマイコンが誤作動し、表示違いなどが発生する場合があります。本体背面のRESETボタンを、先端の細いもので押し、初期化してください。